



第3章

カリキュラム・マネジメントの 実現のための 参考資料集

第2章「カリキュラム・マネジメントの実現に向けた実践事例とその工夫について」でご紹介した各校の作成資料を、ジャンルごとに分類してダウンロードできるようにしましたので、ぜひご活用ください。内容の詳細については、第2章の各校の取組みのページを参照してください。

<留意点>

- 各資料は、二次元コードよりアクセスし、ダウンロードすることができます。各校の実態に合わせて加工していただいても構いませんが、学校HPに掲載する等、データの再配布はしないでください。
- 各校において、本章に掲載された資料を活用いただく際に、資料を作成した当該校に問合せをしたり、使用許諾を求めたりする必要はありません。

第3章 カリキュラム・マネジメントの実現のための参考資料集

1. 「計画（Plan）」に関する参考資料

- (1) カリマネ表（単元配列表）を作る
- (2) 単元の評価規準等を明確にする

2. 「授業」に関する参考資料

- (1) 指導案を改善する
- (2) ワークシートを工夫する

3. 「評価（Check）」に関する参考資料

- (1) 教職員が授業について相互評価をする
- (2) 子どもたちの変容を知る

4. 「情報共有・発信」に関する参考資料

- (1) 教職員・子どもが意識を共有する
- (2) 校内・校外に向け通信を発行する

1. 「計画（Plan）」に関する参考資料

(1) カリマネ表（単元配列表）を作る

令和2年度 熊取町立西小学校 5年 カリマネ表（食育に係る教科・領域・単元について）
 学校教育目標 自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成～一人ひとりが輝く学校づくりを通して～ めざす子ども像 ・すすんでます子 ・なかよくする子 ・元気な子

**食育でつなげるとこうなるけど
研究教科（理科）ではどうなる？**

**職員全員で取り組むと職員同士の
コミュニケーションが図れる。**

熊取町立西小学校 P.7

それぞれの取組みを教科等横断的な視点でつなげ「見える化」し、6年間を通して系統立てながら考えた。



令和元年度 4年 学年目標「 みんなで学び、みんなで成長しよう」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行事（特活）	校外学習（クリーンセンター） 土曜参観（道徳）							遠足	マラソン大会				
総合		環境学習		新聞づくり		福祉学習							
外国語		ALTの自己紹介 Hello! How are you?	I like blue	I like blue			ALTの自己紹介 ALPHABET	ALPHABET Let's play cards	Let's play cards	Do you have a pen?	Do you have a pen?	This is my favorite place	
国語	白いぼうし		説明文（書いて考えてまた書く）	一つの花	組み立てて書こう		読者が関わりあえるように「手と心で読む」	ごんぎつね	アップとルーズで伝えるリーフレットを作ろう ラタナスの木	うなぎのなぞを調べて わたしの研究レポート			
算数	折れ線グラフ	角の大きさ わり算ひっ算	垂直・平行 四角形	そろばん			大きな数 わり算のひっ算	概数 計算のきまり	面積 小数のしくみ	小数のしくみ 小数のかけざん・わりざん	分数 立方体・立方体		
社会	ごみについて		水について	郡彦市			火事からくらしを守る	事故からくらしを守る	大和川のつけかえ	地域の発展に 関心した人	大阪府の土地 とくらし	大阪の産業と くらし 特色ある地域のくらし	
理科	春の自然（へちまひょうたん）		天気のはたらき 夏と秋 夏と冬	夏と秋 夏の夜空			月と星 とこめた空気と水	ヒトと体のつくり	ものの温度と 体積	ものの温度と 体積	水のすがた	水のゆくえ	
音楽	・にっぽんのうた （はじめてのうた ・さくらさくら） ・リコーダー（サミング奏法） ・リコーダー	みんなのうた （まはりのうた） ・リコーダー（サミング奏法） ・リコーダー	・ひびけ歌声 （パパゴ ゆかに歩けば） ・リコーダー	・にっぽんのうた （まはりのうた） ・リコーダー（サミング奏法） ・リコーダー			校内音楽会に向けて	・にっぽんのうた（もみじ）					
図工	自分いろいろ		夢の自転車	絵の鑑賞			光と影のファンタジー	スプーンに映った自分	櫛木鉢	ゆらゆらゆれる	特製 100している鳥	ゆめいろランプ	
体育	短距離（タイム計測）	運動会練習（エイサー）	水泳				走り幅跳び	ハードル走	持久走	キックベース なわとび	サッカー		
道徳	朝がくると 目覚まし時計	ヒキガエルとロバ あいきつができた 小さな塔にはちく手を	ちこく 決めつけないで 手をこえて	つくればいよいよ 雨のバスでいりゅう いのりの手	心と心のあふく 歌の一首として ぼくの理想を体験	がむしゃらに まじりあう 響かせて鼓の音を	いじりといじめ 違反の罰 本気で上手な乗り方とは	お父さんのまに に寄りかかれば 新次のしょうぶ	浮城 ネコの手ポンアン 4215年口	わかってはいるけど お母さんかないで 3つつみ	企業的なないで お母さんかないで 3つつみ		

和泉市立北池田小学校 P.11



国語科を要とした教科横断的な視点を広げられるよう、単元を提案・公開した。また、グランドデザインの作成、見直しを図った。

1. 「計画 (Plan)」に関する参考資料 (1) カリマネ表 (単元配列表) を作る

図6. ひと・まち・つながる教育におけるカリキュラム・マネジメント年間計画

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	地域
4月	給食指導 (生活)		岬のええとこ発見だ	見つめよう 私たちの暮らし	自分たちの食について見つめ、できることを考えよう	ひと・まち・つながりよう	
5月	梅採り (生活・国語)	梅干し作り (生活・国語)		梅採り (総合・理科・国語)			地域の方 (梅園管理者)
6月	田植え (生活)		田植え (総合・理科)	田植え (社会・総合)	田植え (総合・理科)		地域の方 (水田管理者)
7月	梅干しづくり (生活・国語)		梅干し・梅ジュースづくり (総合・理科・国語)				地域の方 (梅園管理者)
8月			折り鶴作成・平和登校日				
9月	稲刈り (生活)		稲刈り (総合・理科)	稲刈り (社会・総合)	稲刈り (総合・理科)		地域の方 (水田管理者)
10月	手まり寿司づくり (生活・国語)		手まり寿司づくり (総合・国語)	手まり寿司づくり (総合・家庭科)			手まり寿司づくり 学校ボランティア
11月	ふれあい喫茶 (音楽・生活・道徳)		ふれあい喫茶 (音楽・総合)	深日漁協見学 (社会・総合)			
12月	音楽発表	みさきめぐり (社会・総合・外国語)	見つめよう私たちの暮らし (社会・総合・理科)	食の安全 (社会・総合)	逆さ言葉 (総合・国語・社会)		町長・町議会議員 岬町教育委員会 保護者 地域の方
1月	保幼小交流 (生活)		昔のくらし (社会・総合)				
2月	生活習慣調査 (生活)		生活習慣調査 (保健)				
3月							

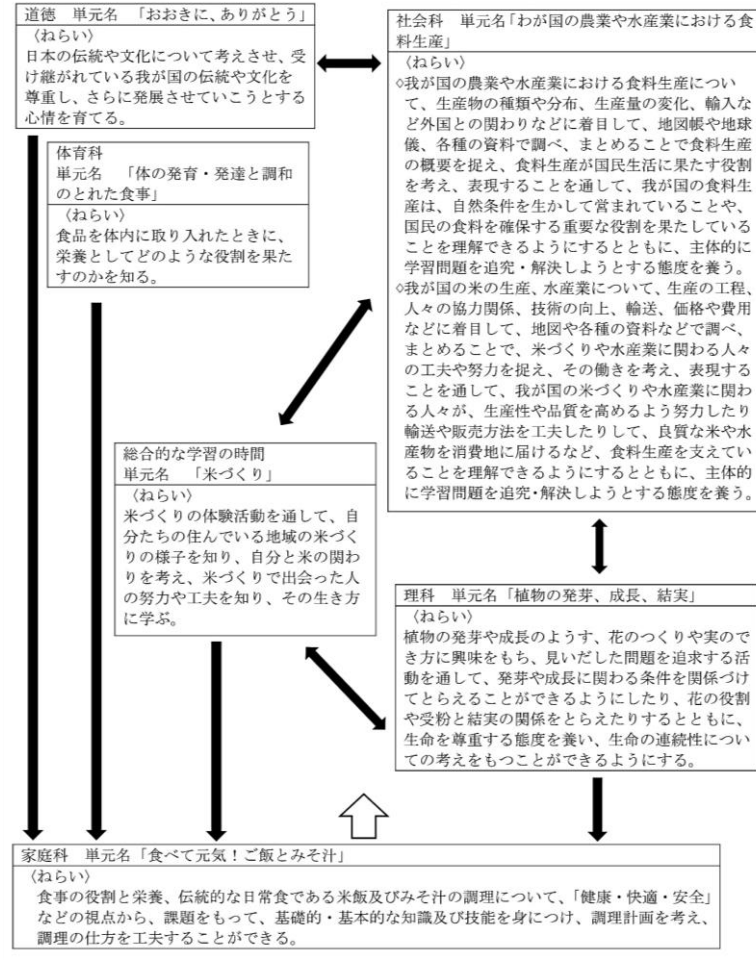
深日小の年間行事と各学年の学習内容をもとに岡田作成

岬町立深日小学校
P.10・11



各学年の取組みを、「体づくり」・「健康教育」・「食育」の視点で、教科等横断的な視点からカリキュラム編成した。
学年単位で実施する取組みと、6年間学び続ける取組みのつながりが明確になった。

「つながり」相関図



熊取町立西小学校
P.12



年間指導計画を俯瞰的に捉え、さらに学年の教員で「食に関する指導」に係る単元等を線で見つなぐことにより、教科間の学習内容・単元の「ねらい」のつながりの相関が「見える化」できた。

1. 「計画（Plan）」に関する参考資料

(2) 単元の評価規準等を明確にする

6年生 【C 読むこと】 物語教材		中心教材と言語活動				
学年目標	知・技	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	生 お き の 方 が 人 に 伝 わ る よ う に し よ う に し よ う に	大 一 好 風 に き 切 る よ う に し よ う に し よ う に	か せ 、 平 に 和 つ ま 、 朝 い ま で 考 え た こ と に お を 話 を 読 み た め	書 「 命 海 の い の ち の し ら べ 」 座 談 ・ 生 き の い の ち の し ら べ 」
	思・判・表	筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	生 お き の 方 が 人 に 伝 わ る よ う に し よ う に し よ う に	大 一 好 風 に き 切 る よ う に し よ う に し よ う に	か せ 、 平 に 和 つ ま 、 朝 い ま で 考 え た こ と に お を 話 を 読 み た め	書 「 命 海 の い の ち の し ら べ 」 座 談 ・ 生 き の い の ち の し ら べ 」
	態度	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	生 お き の 方 が 人 に 伝 わ る よ う に し よ う に し よ う に	大 一 好 風 に き 切 る よ う に し よ う に し よ う に	か せ 、 平 に 和 つ ま 、 朝 い ま で 考 え た こ と に お を 話 を 読 み た め	書 「 命 海 の い の ち の し ら べ 」 座 談 ・ 生 き の い の ち の し ら べ 」
≪対話的な学びのための作法≫ ・叙述に根拠（どこからそう思うのか）を求めろ。 ・自分と同じところ、違うところを伝え合う。 ・「～が言っているのは、こういうこと」と代わりに答えるくらいまでよく聞く。 ・分からないことは、くわしく聞き返す。						
【知・技】	読書	ア.日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。		○	○	○
【思・判・表】	構造と内容の把握	イ.登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。	○	○		
	精査・解釈	エ.人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	◎	◎	◎	
C読むこと	考えの形成	ア.文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。				◎
	共有	カ.文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	○	○	○	◎
【知・技】	言葉の働き	ア.言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 イ.思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、五感や言葉の使い方に對する感度を養って、語や語句を使うこと。				
	表現の技法	ク.比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。				
	音読・朗読	ク.文章を音読したり朗読したりすること。	◎			
学習用語	・登場人物の関係（人物相関図）			○		
	・朗読		○			
	・心情の変化					
	・推薦する（他の作品や叙述と比較して、両者のよさを明確にする）				○	
	・読書座談会					○

枚方市立招提小学校 P.16



Excel版



PDF版

言語能力の育成計画を
資質・能力毎に整理し直し、
1年から6年まで見通せる表
「招提小オリジナル系統表」を
作成した。

年生
つながりを生かした指導のゴール
記入日： 年 月 日

教科・単元名

単元目標

評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・応用力	学びに向かう人間性
評価規準			
学習活動に即した具体的評価規準			

教科・単元名

単元目標

評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・応用力	学びに向かう人間性
評価規準			
学習活動に即した具体的評価規準			

研究テーマや「めざす子ども像」により迫るために、「つながり」を生かした授業デザインを学習指導案に明記できるように「授業デザイン計画シート」を作成した。

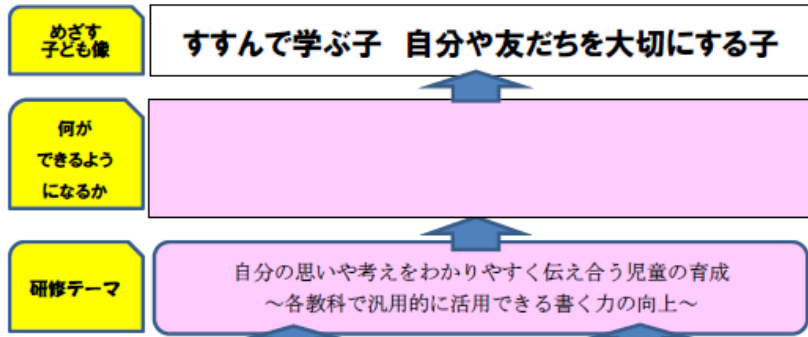
摂津市立摂津小学校 P.10



1. 「計画（Plan）」に関する参考資料 (2) 単元の評価規準等を明確にする

しかけシート

①のぶしょうのみんなが ②きたいとおもう ③いかく シート



教科等 単元名	国語 <input type="text"/> 年	<input type="text"/>
書く力	<input type="text" value="説明力 理由力 感想力"/>	
単元目 標	<input type="text"/>	<input type="text"/>
学習メモ	できる	できる

令和3年度からは、令和2年までの成果や課題に基づき、自分の思いや考えをわかりやすく伝え合う児童の育成をめざし、国語科で身に付けた「書く力」を汎用的な力とするために、カリキュラムをマネジメントし、他教科でどのように生かしていくのかに焦点を絞り、「カリキュラム・マネジメントの実現に向けた年間スケジュール」を作成するとともに、以下のような取組みを実施した。

- ①国語科の各単元の概要を把握し、「書く力」のうち主に「説明力」「理由力」「感想力」のどの力の育成につながるか分類する
- ②年間指導計画を見直し、「書く力」を生かせそうな他教科の学習活動と色別の線をつなぐ
- ③教職員で共有しやすいように、「書く力」を「説明力」「理由力」「感想力」にわけ、3つの力のうちのどの力と関係するのか、どの場面で教科横断的な取組みが行えるのかを1枚のシートにまとめた「しかけシート」に具体的な取組みを記入して、指導計画（学習計画）を立てる

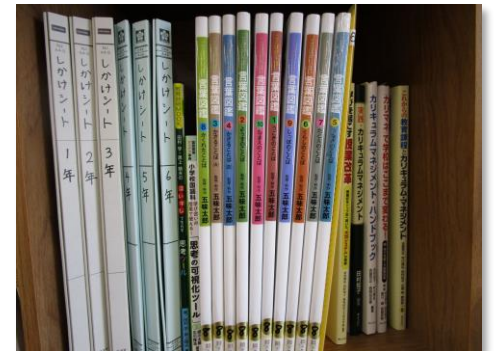
「しかけシート」を作成することにより、他教科との関連が見えやすくなった。また、学年ごとにファイリングし、教職員がいつでも見られるように職員室に棚を設けたことにより、学年の取組みが次年度にも引き継がれることとなった。

New!

四條畷市立忍ヶ丘小学校
P.4



「しかけシート」のファイルを、「書く力」を高めるための参考資料や、カリマネ関連の書籍と一緒に本棚に置いて、いつでも見られるように工夫した。



2. 「授業」に関する参考資料

(1) 指導案を改善する

5. 本単元を通してつけたい力と言語活動の設定

「聞き手」の時の聞き方・「話し手」の時の聞き方・「記録」する時の聞き方を学び、互いの意図をはっきりさせながら、話題に沿って話し合えるようにする。

言語活動【5年間一緒に過ごした友だちのことをもっと深〜く知るために
いろんな「聞き方」を考えながらインタビューをして、聞き上手を目指そう！】

6. 校内授業研究テーマ・研究仮説を達成するための本時の工夫

校内授業研究テーマ

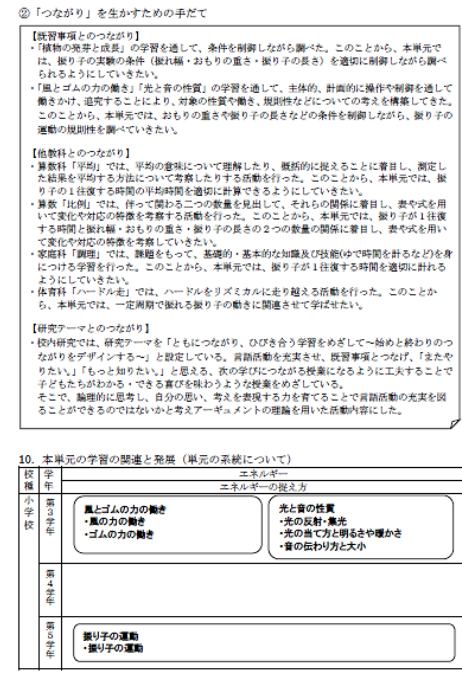
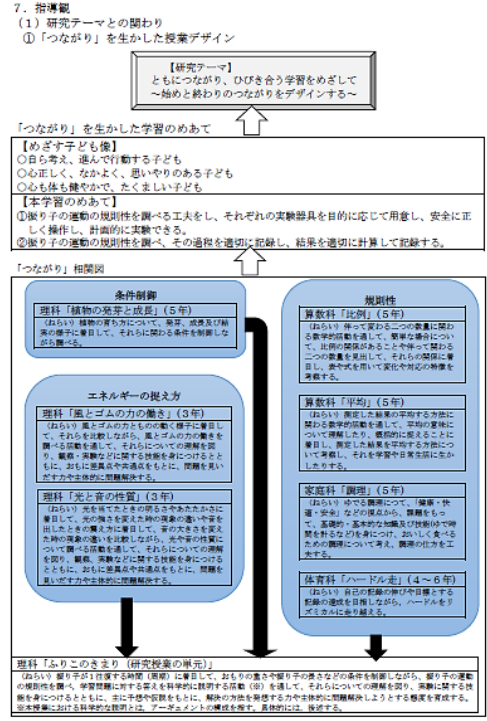
「楽しい!」「やりたい!」があふれる授業づくり
～言葉のキャッチボールを通して、伝え合う喜びを～

研究仮説

①子どもにとって、何を学ぶのかが分かりやすい授業・単元計画
に本時では重点的に取り組む。

本時の工夫

本時では3人組みで「話し手」「聞き手」「記録者」に分かれてインタビュー活動をし、一回目のインタビューの後、活動を振り返る時間を設ける。その際に気づいた点を全体で交流することで、インタビュー活動で「どのように聞けばよいのか」を誰もが理解しながら二回目、三回目と活動をすすめられるようにする。



熊取町立西小学校 P.13

枚方市立招提小学校 P.12



教科間のつながりを意識した学習指導案「つながり」を生かした学習のめあて、「つながり」の関連図、「つながり」を生かすための手だてを指導案に明記した。



「みんなでやってみる」ことを大切にし、全教職員で年間1本の授業を公開した。研究仮説の中から、「どこをがんばる」かを選んで略案を作成した。

2. 「授業」に関する参考資料 (1) 指導案を改善する

臓器ドナー_04_展開1.doc

問題解決的な学習の展開

臓器移植を巡る迷いをもとに生命の尊さについて問題解決的に学習する展開である。中学生の時期は、身近な人の死に接したり、自分の命のありがたさを感じたりする経験がまだ少ないと考えられる。臓器移植を巡って自分や身近な人の生命について深く考えさせることで、生命のかけがえのなさを、尊重する態度を深めたい。


学習指導過程	導入 展開	実物の臓器提供意思表示カード
総時間：約5分	終末	臓器移植の手続きを受け助かった人の手記など
学習活動		指導上の留意点【発問の意図】
導入 5分	1 臓器移植について知る。 発問①臓器移植や臓器提供意思表示カードについて知っていますか。 臓器提供意思表示カードの具体物を見せる。(発祥書)	○臓器移植に関する知識の共有化を図る。適宜、脳死についてなど情報を補足する。
展開 15分	2 教材「臓器ドナー」を読み、考える。 発問①【問題をつかもう。】臓器移植を巡っては、どんな迷いや問題があるだろう。 - 生と死について。 - 臓器はほしいが、あげたくない。 発問②【自分で考えてみよう。】自分の意思を臓器提供意思表示カードに書き込んで、班で意見を交流しよう。 - 自分の大切な娘だから、自分勝手ではないと思う。 - 大切な家族なので、亡くなっても大切にしたいから。 ★発問③【問題を考える、議論しよう。】臓器提供の意思表示をしていない家族が脳死した場合、臓器提供することができるか、できないか、また、その理由を書いて、班で交流しよう。 - 班で紙に意見をまとめる。 - 班で意見をまとめた後、他の班の紙を見に行く。	○教材を読んで感じたことを出させながら、以降の発問で自分の課題（自分事）として考えられるようにする。 ○生命に関する判断は重く難しいものであり、だからこそ命のかけがえのなさについて深く自覚し尊重することが必要であり、正しい答えなどないことに気づかせる。 ○自分の命だけではなく、大切な人の命についてもどう判断するかを考えさせることで、生命尊重に繋がって自分なりの道徳的判断に意識が向くようにする。 ○班で意見を共有し、互いの考えを理解し合う。
終末 5分	3 今日の学習を振り返る。	○教材中の人物や友達など、生命に対するさまざまな価値観に触れたうえで、今の自分の生命に対する思いを振り返らせたい。

発問例

自他への生命の尊さ
臓器ドナー
情報・生前に意思表示、

○臓器移植を巡る迷いや問題
・ 生と死について。
・ 臓器はほしいが、あげたくない。
・ 自分の命とほかの人の命。

臓器提供意思表示カード

16	自他への生命の尊さ 臓器ドナー	教科書 96～99ページ
<p>〈1, 2, 3, いずれかの番号を○で囲んでください〉</p> <p>1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植のために臓器を提供します。</p> <p>2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植のために臓器を提供します。</p> <p>3. 私は、臓器を提供しません。</p> <p>〈1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください〉 【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】</p> <p>(特記欄：)</p> <p>署名 年 月 日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 </p> <p>本人署名(自筆)： _____</p> <p>家族署名(自筆)： _____</p>		

考えてみよう 臓器提供の意思表示をしていない家族が、脳死をした場合、臓器提供しますか？

【 はい ・ いいえ 】

理由

振り返り 今日で学習で気づいたことや考えたことをまとめてみよう。

自分への振り返り ○印をつけよう。

今日の授業の内容は	印象に残った	— — — — —	印象に残らなかった
友達の見聞や話し合いから、新しい発見や気づき	あった	— — — — —	なかった
自分の考えを深めることが	できた	— — — — —	できなかった
これから大切にしたいことが	わかった	— — — — —	わからなかった



指導案データ



ワークシート

「表現力」「コミュニケーション力」を教科等横断的に育成していくことをめざし、4人班を基本とした学習形態を推進し、考えたアイデアを書き出すことができるよう、各班に1枚のホワイトボードを活用した授業づくりを進めた。その際の指導案とワークシートである。

枚方市立第一中学校 P.5

2. 「授業」に関する参考資料 (1) 指導案を改善する

○本時の評価基準

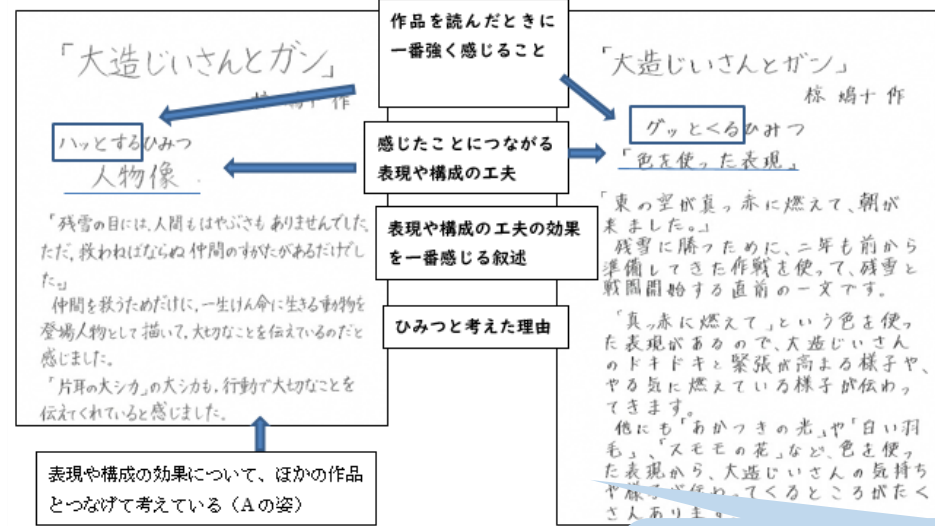
- 自分が選んだ本の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、読んだときに感じたことをまとめている。【C 読むことエ】

具体的な子どもの姿

指導者の発問や声かけ

時間	主な学習活動	指導上の留意点	【観点】評価規準 (評価方法)
5	単元のゴールと今日のめあてを確認する。 自分の選んだ作品の〇〇のひみつを紹介しあう 自分が選んだ作品の疑問や聞きたいことを考えて交流し、自分なりの考えを持つ	・何のための一時間なのか、本時とゴールのつながりを意識させる。 単元のゴールでは何をしますか？	
5	自分が紹介したい作品を読んで、疑問や確かめたいことを考え、付箋を貼る。 【付箋を貼る視点】 ・どうして？(疑問) ・これって…(確かめたい)	・同じ作品を中心にグルーピングしておく。 ・疑問や聞きたいことが思い浮かびにくい児童が予想されるので、個人で学習する時間の配分に配慮する。	
10	疑問や聞きたいことが思い浮かばなかったら友達に聞いてみる 【思い浮かんでいない児童】 「どこに線をひいたの？」 「どうして？」 【疑問に対して自分の考えをもつ児童】 「それはこういうことじゃないかな」	・友達に聞いて疑問が生まれたら線を引いて付箋を貼るようにする。 ・交流の中で疑問に対する答えを見つけた場合は、付箋に書いてノートにはらせる。	
15	疑問や確かめてみたいことを交流して、自分なりの考えを持つ ・「どうしてこんなことしたんやろう？」 ・「自分はこう思っているんだけど、どうかな？」 ・「〇〇さんは、どう？」	・交流の状態によって、グループ以外の児童と交流させる場面も想定しておく。その際、目的に合わせて交流できるよう、だれがどの本を読んでいるのか、一目でわかるように名簿を掲示しておく。	
10	自分が紹介する作品を読んだときに感じたことをまとめる 「自分が選んだ作品は〇〇お話です。なぜなら～」	・作品を読んで感じたこととその理由を書き、次時のひみつを探す活動につなげるようにする。	・自分が選んだ作品の人物像や物語の全体を具体的に想像することができる 【読むこと エ】 (ノート)

○言語活動モデル



言語活動の内容が伝わるように具体的に示す。

(例)

- どこで、どのようなことを表現させているのか
- どこで、どんな力を見取るのか など

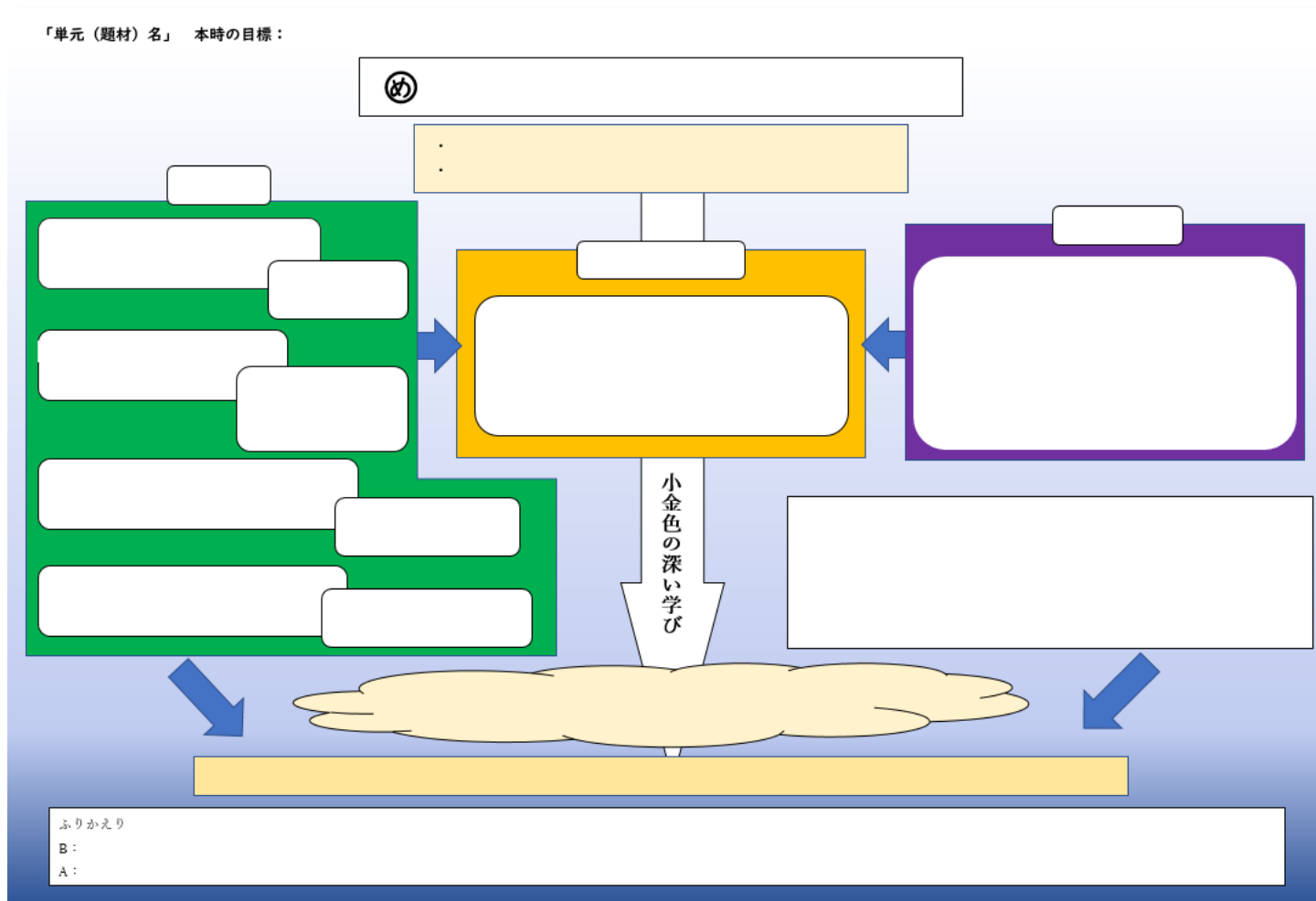
和泉市立北池田小学校
P.14・15

質の高い言語活動を実現するために、年度途中に次年度の指導案モデルを検討し、次のような内容を記載する形にリフォームした。

- ・並行読書材について
- ・言語活動モデル
- ・具体的な子どもの姿 等

リフォーム後の指導案には単元で児童が作成した成果物や単元のふり返り、単元後のアンケートの集計結果なども載せることにした。これを次年度の校内研究の指導案に生かせるように内容を検討し、次年度の指導案モデルの作成を行った。

2. 「授業」に関する参考資料 (1) 指導案を改善する



ごんぎつね 本時の目標:話し合いを通して、ごんの思いの変化に気づき、そのことを自分の言葉や文章で表現できる

④ ごんの「思い」の変化を考え、気づいたことを書く。

後悔・責任・償い→気づいてほしい
○最初は自分がうなぎを盗って、兵十に「ごめん」という気持ちでくりや松茸を置いていたが、今は、同じ独りぼっち同士だから、戻しているのに気づいて友達になりたい。
○最初はうなぎを盗って、うなぎを食べさせたかたお母さんが死んでしまったから自分のせいだと思っていたが、戻していることに気づいて、兵十に「もう大丈夫だよ。」「ありがとう。」とお礼を言ってもらいたい。

○今までは、兵十への償いや、松茸を持って行って、今は兵十にもらったものをあげたい、食べてもらいたいと思って持っている。
○自分がうなぎを盗ったことに後悔や責任を感じていて、そのために持っているのに、神様だと思っているなら、もう持っているはやめようかな。
○今までは兵十のために持っていたけど、神様だと思っているのはわりとあわないなあ。

児童の質問

○なぜ、ごんは兵十と友達になりたいと思っているのですか。うなぎを盗って、怒っているかもしれないですね。
○くりを持って行っているのが、ごんだと気づかれたら、本当に友達になれるのかな。

教師の発問

○神様と思っている兵十に対して、ごんはなんて、次の日もくりを持って行ったのしょう。
○(ごんの最初の気持ちでなかったら)ごんは兵十のうなぎを盗んだ後、どんな気持ちで葉や松茸を持っていったのかな。
★ごんの思いは「気づいてほしい」だけかな。

質問に対する答え

○教科書の「おれと同じひとりぼっちの兵十か」の「おれ」と「と」に注目して、ひとりぼっち同士と思ひ、仲間意識が出てきたと思ったからです。
○ごんの「友達になりたい」という思いが兵十に伝わると思う。
○兵十は誰が持ってきてくれるのか、不思議に思っていたから、知ったら「ありがとう」と思ってそこから友達になれると思う。

小金色の深い学び

★ごんは同じ独りぼっちの兵十に自分を重ねて「さみしさ」を初めて知ったからそんな思いも出てきたと思います。
★ごんは「さみしさ」から、人のぬくもりや家族の温かさなどを求めているのではないかな。

ふりかえり

ごんは、いたずらの後、兵十を知っていくことで、兵十への思いが変わっていった。

【B 評価】

★他者の意見の良いところや、疑問点を書くことができたり、自分の意見と比べて書くことができている。
(例)① ○○さんの「ごんは兵十が独りぼっちだったから友達になりたい」という意見にすぐ納得しました。同じ独りぼっちだから、友達になりたいと思ったのかなと感じました。
② △△さんの意見の「後悔から気づいてほしい」という意見と同じ意見でした。最初はごめんねっていう思いだけけど、気づいて感謝してもらいたいという気持ちに変わっていった。

【A 評価】

★B 評価に加えて、次のような内容が書かれている。
○ごんの気持ちが変わったことでごん自身が「成長」することができた。など話し合った内容をもとに、作品について自分なりの新しい考えを見出している。
○作品を通して、ごんの気持ちの変化を描いた「作者」の新美南吉について自分の意見を書くことができている。
○ごんの行動や思いを自分に置き換えて表現している。(例)ごんのように自分も親に愛されてはしくて、お手伝いしていることに気づいてほしいことがあった。

「コネクトマップ」の例(4年国語:「ごんぎつね」より)

○「めあて」と「ふりかえり」の間に児童の活動や発問、予想される反応などの授業の流れを、矢印を使って見やすく記載している

○ふりかえりで評価基準を明確にすることで、教員は子ども一人ひとりの到達度の評価と、授業そのものの評価を適切に行うことができ、子どもと教員の両方が学びの成果を実感できる授業づくりを進めることにつながった

富田林市立小金台小学校
P.3



New!

1 時間の授業を構造化し、可視化して分析する必要性から、新しい指導案の型として「コネクトマップ」を発案した。「コネクトマップ」とは、ゴールから逆算して授業を設計し、子どもの思考と学習過程に沿った授業展開を可視化するためのツールである。「コネクトマップ」では、予想される本時の「ふりかえり」や、到達したい子どもの姿が明記されており、授業の評価基準がより明確になっているため、授業者はもとより、授業参観者も子どもたち一人ひとりの到達度と、授業評価を効果的に行うことができるようになった。

2. 「授業」に関する参考資料

(2) ワークシートを工夫する

令和2年度 1年生総合学習

()組()番 名前()

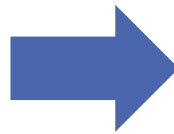
令和2年度 1年生総合学習計画

- 事前学習
休校中の学年の課題でSDGsゴール16、技術・家庭科にてSDGs環境面について学習済み
- 1学期の学習目標
 - SDGsについて知る ⇒ 総合開きて学習済み
 - 探究的な学習の方法(特に「課題設定」と「仮説を立てる」ことの大切さ)を理解する
- 1学期の学習内容
 - SDGsの目標16を利用した探究活動 10h ⇒ 無理なので6h+2学期
 - 夏休みを利用して企業訪問 ⇒ コロナで無理なので諦める
- 新**1学期の学習内容
 - 用意されたゴール16に関する8つの課題設定から選ぶ
 - 班でその課題が起きている理由を予想する(道筋をたてる)
 - 班で課題解決に向けた仮説を立てる
 - 調べ学習で探求する
 - 自分の考えを述べる
 - 班で協力してポスターを作る/ワールドカフェ方式で発表
- 設定する課題を班で1つ選択する
 - 違法な武器の取引はなぜ起きる?
 - 出生登録を含む法的な身分証明が発行されていない国があるのはなぜ?
 - テロリズムの撲滅に対して日本はどんな対策をしている?
 - 内紛が起きる原因ってなんだろう?
 - 企業を営んでいる国の競争を終わらせるには?

1学期中の授業で

夏休みの課題

2学期中の授業で



1. 予想を立てて、仮説を立てよう!

総合学習では、

- ① 予想を立てる ⇒ なんでかな?こうかな?
- ② 仮説を立てる ⇒ きっとこうしたら解決できる!
- ③ 調べる ⇒ 本当かな?確かめよう!
- ④ 自分の意見を持つ ⇒ こうしたらいいんだ!
- ⑤ 発表する ⇒ こうなんです!!

という、流れて学習を進めます。

練習 曲がったキュウリがあるのはなんでだろう?

(予想)キュウリが曲がる理由は

(仮説)きっとこうしたら曲がらない!

2. SDGsのゴール16について知識を深めよう!

YouTube 動画・・・「SDGs目標16平和と公正をすべての人に。優しい気持ちで平和をつくる!」



学習計画



ワークシート

1年間の総合的な学習の時間の計画に基づき、各教科の授業において育成した資質・能力を、どのように総合的な学習の時間につなげることができるのかを意識して、ワークシートを作成した。

枚方市立第一中学校 P.13

2. 「授業」に関する参考資料 (2) ワークシートを工夫する



「すたサポファイル」

New!

四條畷市立忍ヶ丘小学校
P.5

ふりかえりで つかってみよう!

なまえ ()

①	～ができた
②	～をがんばった
③	～がわかった
④	～がむずかしかった
⑤	～は、もうすこしで できそうだ
⑥	つぎは、～をがんばりたい
⑦	つぎまでに、～をしらべたい (しりたい)
⑧	～が、どうしてかなと おもった (ぎもんにおもった)
⑨	～さんの かんがえをきいて、～とおもった ～とわかった ～にきづいた
⑩	～さんと じぶんのかんがえを くらべて～

きょうのがくしゅうで…
なるほど!
そうだったのか!
こうかもしれないな…
そんなかんがえもいいな…
はっけんしたことや ひらめいたことを
ふりかえりにかいて
じぶん の たからばこに のこしておこう!



低学年用



振り返りで 使ってみよう!

名前 ()

①	～ができた
②	～をがんばった
③	～がわかった
④	～がむずかしかった
⑤	～は、もう少して できそうだ
⑥	次は、～をがんばりたい
⑦	次までに、～を調べたい (知りたい)
⑧	～という疑問がわいてきた
⑨	～さんの 考えを聞いて、～と思った ～とわかった ～に気づいた
⑩	～さんと 自分の考えを 比べて、～
⑪	今までに習った事と つなげて考えると～
⑫	今日学んだことは ～に生かせそうだと思う
⑬	自分は今まで～だったが、～するとわかるようになった

今日の学習で…
なるほど! そうだったのか!
こうかもしれないな… そんな考えもいいな…
発見したことや ひらめいたことを 振り返りに書いて
自分の 宝箱に 残しておこう!



高学年用



「すたサポファイル」とは、児童が学んだことを大切に保管できるファイルのことである。ファイルの作成に当たっては、

「児童の学びに (特に教科横断的な視点で) どのようなものがいつ必要なのか」

「6年間引き継いでいくことのメリットがあるのではないか」

「引き継ぐためにはどのような方法が考えられるか」

など、低学年部会・高学年部会に分かれて意見を出し合い、合意形成を図った。

つくる時につかう「うごきのことば」

名前

あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行
あける	かく	さしこむ	立つ	ならべる	はさむ	まきつける	やぶる		わにする
合わせる	かざる	さす	立てる	ぬる	はめる	まく			
入れる	きりおとす	しまう	出す	のせる	はりあわせる	まげる			
おく	きりこむ	せっちゃくする	ちぎる		はりつける	むすびつける			
おしこむ	切り出す	そめる	つくる		はる	おすぶ			
おりこむ	切りとる		つける		引く	もつ			
おりまげる	切りひらく		つなぐ		引っぱる				
おる	切り分ける		つぶす		ひらく				
	きる		つまむ						
	くっつける		とおす						
	こねる		とじる						
	ころがす		とめる						

つくる時につかう「うごきのことば」

2年生の児童が、自分たちでことばを出し合って、ものを作る時に使うことばの一覧表を作成し、「すたサポファイル」に保管して、いつでも参考にできるようにした。



例えば、語彙力を高めるために使用する際は、児童が中心となって気持ちを表す言葉を出し合ったり、説明する時に使う言葉をまとめた語彙表を作成したりして「すたサポファイル」に挟むようにしている。作文やふりかえりなどを書くときは「すたサポファイル」を参考にすることで、書くときに考え込む児童が少なくなった。

取り組み始めた令和3年度は、教員が作成したものをファイルに入れていたが、令和4年度からは、児童自身が作成したのももファイルに入れることを意識した取組みを進めている。

2. 「授業」に関する参考資料 (2) ワークシートを工夫する

田尻 SDGs TO TAJIRI

私たちのSDGsの目標グループ 目標() 年 組 名前()
グループ名()

めあて「田尻町のために何ができるか、自分たちの提案を構想しよう!!」

①自分たちに何ができるか ②学校全体で何ができるか ③地域・役場と連携・協力して何ができるか

課題設定「これまで学習した内容から田尻町の解決したい課題を考えよう」

課題

根拠(資料やデータを用いて)

連携先「課題解決に向けて、どんな人、企業、役場と連携・協力したいかを考えよう」

連携先

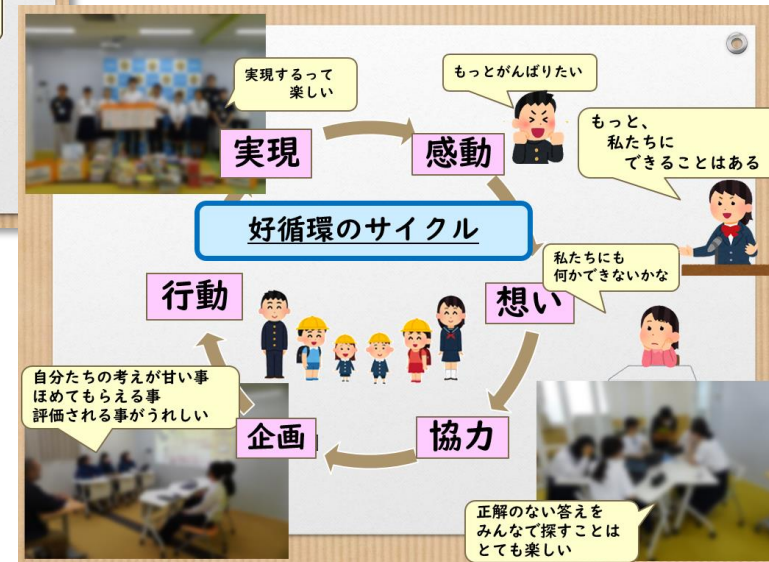
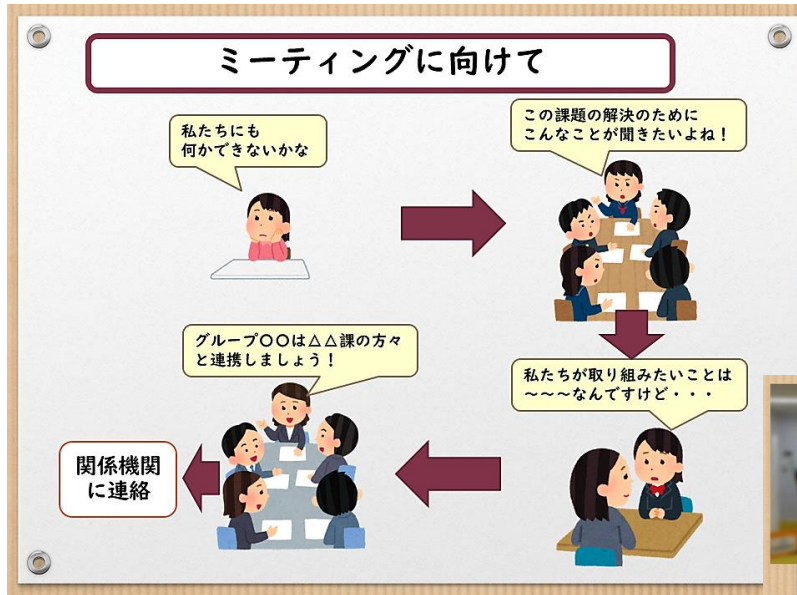
根拠

企画・提案「自分たちのやりたいことを実現させるために具体的に計画を立てよう」

内容

理由(どんなメリットがあるかなど)

計画(連携先とのミーティングは3回!貴重な時間なので、無駄にしないように!)



New!

田尻町立中学校
P.6



企画ミーティングに向けたワークシート

SDGsのグローバルな目標から田尻町の課題に焦点化し、子どもたちが感じる田尻町の課題を各グループが設定した。課題の解決策を、連携する方々に企画・提案するための材料として、左図のようなワークシートを作成した。

3. 「評価 (Check)」に関する参考資料

(1) 教職員が授業について相互評価をする

授業参観シート

日時：()月()日()時()分
 授業者：()先生 教科()
 参観者：()

① 11月6日公開授業で1回参観してください。
 ② 11月2日～11月13日までの期間で1回以上参観してください。

「中がめざす子どもの姿」 学校グランドデザイン

■学んだこと、経験したことを生かして自ら設定した課題を解決している
 ■自分の考えや思いを他者と交流することで学びを深めている

① 授業を見る観点を下の表から選んで参観してください。(すべてに記載する必要はありません)

観点	見つけた工夫やアドバイス
生徒が主体的に学習をすすめている工夫	
他者と交流することで学びを深める工夫	
生徒同士が「つながり」を持つ工夫	
生徒の学びを定着させる工夫	
板書の工夫	
生徒の学びを深める発問の工夫	
課題(プリントや教具)の工夫	
個に応じた指導の工夫	
生徒の学びを見取る工夫	

② 授業者の先生に質問/メッセージを書いてください。

※参観シートは授業者へ原本を、学向上担当まで返しを渡してください。複写して使用してください。



枚方市立第一中学校 P.11

相互参観授業週間を学期に1回定め、他の教科でどのような取り組みをしているのが実際に見る機会を作り、教職員が互いに刺激を受けながら、授業を改善していけるように工夫した。

年生 参観者：_

記入日： 年 月 日

実践のねらい・この実践を行った理由

つながりマップ

実践時期 必要人・モノ

必要な時間

ここがよかった！こうすりゃよかった！

研修で使用したワークシート



摂津市立摂津小学校 P.12

学期ごとに、児童の姿から「つながりを生かした取組み(カリキュラム)」を振り返り、「ここがよかった」「こうすりゃよかった」と意見を出し合いながら「成果と課題」を明らかにした。
 また、前年度の学年担任とともに次学期のカリキュラムの見直しを行い、各単元の学習内容をイメージしたり、前年度の成果を生かしたりできるようにした。

校内研究テーマ	根拠をもって 自分の考えを表現できる児童の育成
今期学年目標	
具体的な取組み	
成果	
課題と次期への見通し	



まなびプラン様式



まなびプラン
全学年の概要

New! 忠岡町立東忠岡小学校 P.6

1年間をI～IV期に分けた、各学年による「まなびプラン」シートを作成した。なるべく短いスパンでPDCAサイクルを実施し、端的に評価してすぐ次の実践へつなげていくというサイクルを定着させた。全学年のまなびプランは校内の共有フォルダでいつでも見られるようにしている。長期休暇には全学年や各部会から集まった「まなびプラン」をもとに教職員全体で検討・協議する機会も設け、今後の見通しを持つための教職員間交流は大変有効であった。

3. 「評価 (Check)」に関する参考資料

(2) 子どもたちの変容を知る

(学力向上担当者の活用)

②実践 単元末の力だめし問題・アンケート の作成・実施 (4年生以上)



和泉市立北池田小学校 P.10

短い期間で、効果を定量的・定性的に見取り検証する経験を積み、教員一人ひとりの子どもたちの姿を見取る力の向上をめざし、共同研究した単元（4年生以上）で、学力向上担当者が学年教員と協力して単元末力だめし問題・アンケートを作成し実施した。



4年生アンケート



6年生アンケート



5年生問題用紙



5年生解答用紙

授業についてのアンケート 6年 組
 学年名: 【一言添く感じに空白欄をフルードを設けて表紙しよう】 名前

	うしろめたい	うしろ	あまりうしろめたい	そうでもない
1				
2				
3				
4				
5				

当てはまるところに○をつけてください

★ 勉強の学習を通して身についた自分の感じたことを伝える力は、これからどんな場面でもかかせると感じますか？

3. 「評価 (Check)」に関する参考資料 (2) 子どもたちの変容を知る

自分の生活を記録しよう！

3年 名前

1. 自分の生活の目標を決めよう。(例) 10時までに寝るぞ！ 毎日少しでも運動する。

目標 少しでも運動をしたい！

2. 今日の朝起きた時間と、昨日の夜寝た時間に○をしましょう。
3. スマホ・テレビ・ゲームの時間に線を引きましょう。(例)

6月18日(月)～6月24日(日)

記入例	朝		昼		夜		スマホ・テレビ・ゲームの時間	4. ごはんを食べた		5. 体を動かす運動、遊びをした					1日の運動時間の合計を書きましょう
	前	後	前	後	前	後		前	後	大休	習	放	習	計	
記入例	○	○					ゲーム	△	○	○	○	×	×	計	30分

月	計	前	後	前	後	前	後	前	後	大休	習	放	習	計
月	計 15分	○	△	○	○	×	×	計	30分	R	OK!			
火	計 4時間	○	○	○	○	×	×	計	30分	R				
水	計 10分	○	○	×	×	×	×	計	0	OK				
木	計 10分	○	○	×	×	×	×	計	0	OK				
金	計 50分	○	○	○	○	×	○	計	10時間	OK				
土	計 10分	○	×	×	×	×	×	計	0	OK				
日	計 15分	○	○	×	×	×	×	計	20分	OK				

目標達成は・・・？ できた - だいたいできた - あまりできなかった - できなかった

6. 自分の生活を振り返って、より元気に生活するために次はどうしたらいいか書きましょう！
もう少し運動する時間をもたせたい。楽しい運動ゲームばかりでいい。

すばらしい！ 楽しく運動できたのいいね

生活習慣調査を年間2回実施している。子どもたちが自分自身の生活習慣の課題を見つけやすいように、時間軸利用の研究手法をもとに、テレビやスマホ等、自分たちが使った時間を数直線上に記入していくように工夫し、生活習慣を「見える化」した。



3. 「評価 (Check)」に関する参考資料 (2) 子どもたちの変容を知る

めざせ！家庭学習名人！(3～6年生用)

23日(月)提出 家族でチャレンジ 年組名前 (番)

家庭学習チャレンジシート

☆家庭学習のながれ

①まず一番に、今日の宿題をしっかりとやりましょう。
②宿題がおわったら、自主学習をしましょう。
③今日の家庭学習をふりかえり、明日の学習のじゅんびをしましょう。

家庭学習の目標 (おうちのひととそうだんしてかこう。)

項目	目標	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	できた回数
7時までにおきる *時刻も書こう	できた	2点	点	点	点	点	点
	できなかった	0点	時分	時分	時分	時分	5日中
朝ごはん	食べた	2点	点	点	点	点	点
	食べなかった	0点	点	点	点	点	5日中
自分から進んで おはようのあいさつをする	できた	2点	点	点	点	点	点
	できなかった	0点	点	点	点	点	5日中
家庭学習 (宿題も全部) *時刻も書こう	できた	3点	時間	時間	時間	時間	点
	しなかった	0点	分	分	分	分	5日中
読書(目標 10分以上) *おうちの人の読み聞かせもふくむ	できた	3点	点	点	点	点	点
	しなかった	0点	点	点	点	点	5日中
今日学校で勉強した内容を お家の人に話す	できた	2点	点	点	点	点	点
	できなかった	0点	点	点	点	点	5日中
絵巻をけずって、筆箱の形を写す	した	2点	点	点	点	点	点
	しなかった	0点	点	点	点	点	5日中
前日に連絡帳を見て、時間わり をあわせる	した	2点	点	点	点	点	点
	しなかった	0点	点	点	点	点	5日中
早寝 *時刻も書こう 1～3年(9時まで) 4～6年(10時まで)	できた	2点	点	点	点	点	点
	できなかった	0点	時分	時分	時分	時分	5日中
1日の合計		20点	20点	20点	20点	20点	

一週間のふりかえりを自分でかこう！

あなたの1週間の合計は()点です。

90点以上 家庭学習名人です。この調子でがんばろう。

89～80点 なかなかいいですね。名人までもう少しです。

79～70点 少し心配です。できていないところに気をつけよう。

69点以下 心配です。家族の人と相談しよう。

学習時間のめやす
1・2年 20分以上
3・4年 40分以上
5・6年 60分以上

今回のチャレンジ週間は、保護者の方のご感想をアンケートに入力していただく形をとります。右のQRコードからアンケートページへ行けますので、ご協力をよろしくお願ひします。締切：1月30日(月)



児童の家庭学習定着と生活習慣改善にむけ、従来から学期に1回ずつ実施していた「家庭学習チャレンジ週間」の取組みを、以下の通り見直した。

- ①チャレンジ項目に、「学校で学んだことを家庭で話す」という項目を追加
- ②上記の内容を説明するため、4年生以上がタブレットを持ち帰り、発表スライド等を見せながら児童が保護者に話す場を設定
- ③保護者からのコメントを、Web上でアンケートを実施して回収する形に変更 (第2回より)

以上の変更により、家庭でのコミュニケーション促進をはかるとともに「伝える」力を養う、予習復習や自主学習への意欲付けを狙ったが、回を追うごとに熱心に学習内容を伝える児童が増え、保護者も話を聞けるのを楽しみにしている様子がアンケートから見てとれた。親子のコミュニケーションのきっかけづくりとなるとともに、今後さらに意欲的に家庭学習に取り組む児童が増えていくよう継続的に支援していく。

「めざせ！家庭学習名人！」

項目ごとにグラフ化し、学期ごとの参観時に掲示した。早寝早起きや読書等、課題が残る項目を目立たせ改善を促したが、大きく変化させるのは難しかった。今後も同様の取組みを継続し、生活・学習習慣をさらに改善させていきたい。

New!

忠岡町立東忠岡小学校
P.11



3. 「評価 (Check)」に関する参考資料 (2) 子どもたちの変容を知る

学園アンケート項目

- 【質問 1】 (小学生) お子さんは、「授業が楽しい」と感じている
- 【質問 2】 (小学生) お子さんは、読み・書き・計算・漢字などの基礎的な学力が身につけてきている
- 【質問 3】 (小学生) 学校は、体育の授業・運動会・なわとび検定など工夫して体力づくりに取り組んでいる
- 【質問 4】 (小学生) 学校は、朝学習・読書タイム・学びタイム・ふれあいタイム・少人数指導など丁寧な指導に努めている
- 【質問 5】 (小中共通) 学校は、授業参観や懇談会、通知表 (中学校はテスト成績表も) などを通して、子どもの学力と達成度などをわかりやすく伝えようとしている
- 【質問 6】 (小学生) お子さんは、自分の考えを伝える力がついてきている
- 【質問 7】 (小学生) お子さんは、「学校が楽しい」と感じている
- 【質問 8】 (小中共通) 学校は、児童会・生徒会・委員会の活動 (あいさつ運動・学園サミットなど) に積極的に取り組んでいる
- 【質問 9】 (小中共通) お子さんは、意欲的に学校行事に取り組んでいる
- 【質問 10】 (小中共通) 学校は、いじめのないなかまづくりに取り組んでいる
- 【質問 11】 (小中共通) 学校は、一人ひとりの子どもを大切に、適切に指導し、相談に応じている
- 【質問 12】 (小中共通) 学校は、自分を大切にす心や、他人への思いやりの心を育てようとしている
- 【質問 13】 (小中共通) 学校は、子どもの安全や安心のため、避難訓練や防犯教室、安全点検などの適切な指導が行っている
- 【質問 14】 (小中共通) 学校は、学校の様子や取組など、学年・学校だより、ホームページなどで伝えようとしている
- 【質問 15】 (小中共通) 学校とPTAはともに様々な活動を行っている
- 【質問 16】 お子さんは、地域の方々や先生に、きちんとあいさつをしている
- 【質問 17】 お子さんは、家での約束を守っている
- 【質問 18】 お子さんは、自分には良いところがあると思っている
- 【質問 19】 (小学生のみ) 運動会の午前中開催は、良かった

富田林市立小金台小学校 P.7



New!

田尻町立中学校 P.8・9



New!

年度当初に計画し、実践してきた様々なプランについて、現在までの取組みを評価するためのアンケートを実施した。対象は、教職員・保護者・子どもで、授業に関することや学校生活に関する、学校運営や小中連携に関する事など、様々な観点から、現状の実態を把握した。アンケートの結果から考えられる成果や課題の検証を行い、年度の後半や次年度のプランニング作成につなげていった。

学習アンケート (第1回) 年 組 名前 ()

教職員自己診断アンケート (第1回) 名前 ()

NO	質問項目	回答				
		あ	こ	い	あ	あ
1	将来の夢や目標を持っている。	4	3	2	1	
2	自分にはよいところがあると思う。	4	3	2	1	
3	みんなと何かをするのは楽しい。	4	3	2	1	
4	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	4	3	2	1	
5	自ら課題を見つけて、家で勉強している。	4	3	2	1	
6	授業に主体的に取り組んでいる。(自ら考え自分から取り組んでいたと思う)	4	3	2	1	
7	授業では、その時間の目標 (ねらい・めあて) を意識して学習している。	4	3	2	1	
8	落ち着いて授業が受けられている。	4	3	2	1	
9	間違えた問題は、必ず分かるようになるまでやり直しをしている。(復習している)	4	3	2	1	
10	普段からチャーム言葉を覚えている。	4	3	2	1	
11	国語では、授業がよく分かる。	4	3	2	1	
12	国語の授業では、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。	4	3	2	1	
13	国語の授業では、これまで学習した内容や、今の学習に関連する内容をふりかえる機会がある。	4	3	2	1	
14	国語の授業では、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。	4	3	2	1	
15	国語の授業では、自分の意見を伝える場面がある。	4	3	2	1	

カリキュラム・マネジメントに関するアンケート

令和4年6月実施

最もあてはまるところに○を記入してください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	ややあてはまらない	あてはまらない
A. 先生方ご自身の授業実践レベルでの「カリキュラム・マネジメント」について					
①	私は、教科書や指導書に沿って授業を行うのに手一杯になりがちである。				
②	私は、各教科等の教育目標や内容の相互関連を意識して日々の授業を行っている。				
③	私は、習熟事項や、先の学年で学ぶ内容との関連 (系統性) を意識して指導するようにしている。				
④	私は、教科指導において、知識・技能の習得だけでなく、単元を通して重要な概念やプロセス、原理などを深く理解させるように指導をしている。				
⑤	私は、パフォーマンス評価など、思考力・判断力・表現力などを評価する手法の開発や実践に取り組んでいる。				
⑥	私は、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ、表現に至る学習の過程を重視した指導をしている。				
⑦	私は、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置づけている。				
⑧	私は、教科の学習内容を、実生活や社会での出来事に関連づけて指導するよう心がけている。				
⑨	私は、年度当初、教育課程を計画する際、評価規準や方法、時期なども併せて計画している。				
⑩	私は、教育実践の成果、課題などを記録しておき、次の単元や次年度の実践の改善に役立てている。				
⑪	私は、地域の人材や資源を積極的に活用している。				
⑫	私は、新しい実践に対して前向きに取り組もうとしている。				
B. 学校レベルの「カリキュラム・マネジメント」への先生方ご自身の関わり方について					
①	私は、学校全体の学習傾向や課題について、具体的に説明できる。				
②	私は、学校の教育目標や、目標を達成するための方策について、具体的に説明できる。				
③	私は、学習指導書を作成する際、目標や内容が学校経営計画、学年経営案と連動するよう作成している。				
④	私は、学校の教育目標を意識して授業や行事に取り組んでいる。				
⑤	私は、学校の年度指導計画の改善に役立つような記録 (メモ) を残している。				
⑥	私は、学校の研究主題を意識して日々の授業に生かしている。				
⑦	私は、自己の知識や技能、実践内容を同僚と相互に提供しあうようにしている。				
⑧	私は、学習や学年・教科のことだけでなく、学校全体のことを考えて行動している。				
⑨	私は、目指す教育活動のためには、ときには難しい相互批評もいとわず実践するようにしている。				
⑩	私は、同僚と共に、学習や学年を超えて、児童の成長を伝え合い、喜びを共有している。				
⑪	私は、立場や役割に応じて、リーダーシップを発揮している。				

四條畷市立忍ヶ丘小学校 P.10

教職員の変容を見取るために全教職員に1学期と2学期の2回、(A)「授業実践レベルでのカリキュラム・マネジメントについて」、(B)「学校レベルのカリキュラム・マネジメントへの自身の関わり方について」の2つの観点でアンケート (注) を取っている。

(注) 参考: 「カリキュラムマネジメント・ハンドブック」
田村知子・村川雅弘・吉富芳正・西岡加名恵 編著

New!



4. 「情報共有・発信」に関する参考資料

(1) 教職員・子どもが意識を共有する

信太っ子が授業で大事にする7つのこと

1、丁寧にいきます

(時間を守る、準備する、丁寧に書く、声の大きさ、言葉遣い、
～しながら聞かない、最後までやりぬける)

2、となりの仲間をほっておきません(友だちの悩んでいることを考えられる、一緒に考える)

3、今まで学んだことを活かして考えます

4、自分からわからないことをたずねます(わかるまで聞きます)

5、誰のどんな話もしっかりと考えながら聞きます

6、自分の思いや考えを伝えます(自分の考えを持とうとします)

7、「なんで?」「～だから」と考えます

「学びのフレームづくり」として、主体的に学ぶ子どもの育成をめざし、学校全体でどのように学ぶのか「学び方」の共有を図った。

また、思考しながら主体的に「聴く」ための手だてとして「聴き方の達人」を職員で共有した。「聴いたあと、感想や意見が言える」「聴いたあと、話について質問する」など8つの項目を作り、聴くことを体系的に捉え、視覚化した。



話の聴き方の達人をめざそう!!

①話している人の方を向く

⇒相手を見て、いい姿勢で、うなずきながら、笑顔で、終わりまで聴く。

②聴きながら、心の中で「おしゃべり」する 「考えながら聴く」

⇒「どこでそう考えたのだろう」「自分の考えとどこが同じ(ちがう)かな」「〇〇ってどういうこと」と心の中でおしゃべりする。

③聴きながら、「わからない」ことを発見する

⇒わかったつもりになっていないか。聞き流してしまった言葉がないか。わからないことがあった時は、「〇〇ってどういう意味?」「よくわからないからもう1回言って」と伝え手に言う。

④聴いたあと、話の内容を人に伝える 「リボイス」

⇒本当にわかったというのは、聴いた話の内容を人に話すことができること。

⑤聴いたあと、感想や意見が言える 「自分の言葉に置きかえて受け止める」

⇒相手が言ったことに対して、感じたことや考えたことを自分の言葉にする。毎日、すべての授業で意識させる。

⑥聴いたあと、話について質問する 「訊ねる、確認、問い返し」

⇒わからないから質問するのではなく、もっとわかるために質問をする。「もっと知りたいことは?」「くわしく知りたいことは?」「〇〇さんはどう思う?」「〇〇やんな?」

⑦仲間の話のつづきを想像する

⇒相手が伝えたいこと、困っていることを想像する。一方的に教える関係性ではなく、相手軸をもった対話的なコミュニケーションとなる。

⑧仲間の言葉を引き出す 「寄り添って訊く」

⇒「どう?」「いける?」「ここまでわかった?」「これってどういう意味?」「〇〇ってわかる?」「〇〇の公式を覚えている?」

聴くことを体系的に捉え、視覚化

4. 「情報共有・発信」に関する参考資料 (1) 教職員・子どもが意識を共有する

2学期 「話す・聞く」単元

つきたい力×子どもの実態

言語活動の実践

児童の実態が変われば、
言語活動における児童の様子も変わる！

ブロック学年や今後の実践等にご活用ください。

枚方市立招提小学校 P.14

2学期

「つきたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について
つきたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つきたい力と子どもの実態にぴったりな言語活動」について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【4年】

1. 単元名

だれもが関わり合うために

2. 本単元でつきたい力

目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

3. 本単元で行う言語活動

「令和」の新時代をともに生きていくために、だれもが関わり合うための、社会の工夫を調べて発表しよう。

4. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

- 自分で調べたいことを選んでの活動だったので、意欲的に取り組んでいた。
- 情報の分類について、児童が自分の基準で分けられれば良いことにしたので、評価がしやすかった。
- 情報を整理すると発表がしやすいことや、必要な情報と必要でない情報があることに気づけた。

△メモの取り方に課題がある児童が少なくなかったので、引き続き他教科でも行う。

△資料の情報が入ってこない児童への支援がまだまだ不十分であった。(声に出して一緒に読むなどの支援を行った。)

夏季校内研修を受けて、2学期に実践した「つきたい力と子どもの実態にぴったりな言語活動」について良かった点・改善点をミニ冊子にまとめて配付し、ブロック学年会で意見交流した。



(2) 校内・校外に向け通信を発行する

1 ジャンル

中学校1年生

総合的な学習の時間

1年学習・個別学習・協働学習

教員と児童生徒

2 概要



単元(題材)名

未来の企業はどんなSDGsをしているのだろうか? (全10時間)

単元(題材)目標

① 企業とSDGsの関係についてSDGsを軸に2つの企業(一つは質問、1つは自分の得意とする分野)の対比して学びを深める
② 各企業が何を軸として活動しているのか、SDGsに照らし合わせて何が強みなのかを、その企業が得意とする分野とSDGsが対応している企業を軸としてKeynoteでまとめる。

活用したICT機器、アプリケーション等

GoogleClassroom、Keynote、インターネット検索

本時のめあて

自分が選んだ企業が抱えるSDGsの問題点はなにか調べよう

本時の展開の概要

前時までに、個人が決定した興味のある企業について、「現在実施しているSDGsの取組」を調べ、本時は「未来に何ができるのか?」という視点で、iPadで検索をしたり、独り意見交流をしたり、自分で想像したりし、将来の企業像を創造していく。また調べた内容は、keynoteでの発表に備えて資料をまとめていく。また、同時期に遠隔指導で職業観について学びを進めるカリキュラム・マネジメントも実施した。

ICT機器の活用でねらった効果

keynoteでの発表に備え、事前に各休みにkeynote資料を作成する課題を出題したり、英語科が全英発表のパフォーマンス、keynoteによる他校紹介を授業に取り入れたりと、生徒の学びやkeynoteを取り扱う技能の習得をマネジメントした。本校の目標「自分自身の考えを持つ、他者交流を通じて自分の考えを深める」を達成するため、一人ひとりがKeynoteで自分の考えをまとめる、発信することは生徒の資質・能力を育成するために効果的であると考えられる。また、支援が必要な生徒にとっては、紙ベースで資料をまとめるより作業しやすく、主体的に積極的に参加することができている。



児童生徒の様子(成果や課題)

生徒はKeynoteで資料を作成することにはすぐに慣れ、自分の考えや意見を写真や文字を使用して効果的に伝えようとし、意図的に学習に望めた。アップルならではの直感性により、追加「+」と変更「>」の使い方を指導するのみだったが、アニメーションなどの利用もできるようになった。複数教科で取り組むことで、生徒は力をより習得しやすい環境となっている。

第一中学校 名市

2年生の保護者様

食育だより

令和元年11月27日
熊取町立西小学校
栄養士

11月26日(火)に、さつまいもを使った蒸しパン作りをしました。2年生が芋ほりで収穫したさつまいもを使用しました。自分たちで作った蒸しパンを食べて「おいしい」、「まだまだ、たくさん食べたい」などの声も聞こえていました。生地が膨らむのを見て「大きくなってきた!」、驚いている様子もあり、楽しく実習ができました。



《活動の様子》

さつまいものお話

さつまいもは土の中で育ち、秋が旬の食べ物です。収穫後、2〜3か月経っても、おいしく食べられます。体を動かすエネルギーのもとになるでんぷんが多く含まれています。ほかに、肌の調子を整えるビタミンCや、おなかの中をすっきりしてくれる食物繊維も含まれています。



さつまいもを使った蒸しパン レシピ

- ☆材料(アルミカップ9号 8個分)☆
- ・ホットケーキミックス粉 150g
 - ・牛乳 150cc
 - ・さつまいも 中1/2本

☆作り方☆

- ① さつまいもは皮をむき、1cm角切りにして、ゆがく。(電子レンジで約3分、温めてもできます。)
- ② ホットプレートの底が隠れるくらいの水を入れ、200℃にセットする。
- ③ ボウルに粉を入れ、牛乳を少しずつ入れながら泡だて器でしっかりと混ぜる。
- ④ アルミカップ(2枚を重ねたもの)にスプーンで生地を半分くらいまで入れ、
 - ①のさつまいもをのせる。※生地を入れすぎるとあふれるので注意
- ⑤ ホットプレートにのせ、ふたをして約5分蒸す。
- ⑥ 竹串をさし、なにもつかなくなったらできあがり。



<使用した器具>

ホットプレート、フライ返し、ボウル、泡だて器、スプーン、アルミカップなど



学校で実施した蒸しパンのレシピを載せています。今回は素材の味を生かすために生地やさつまいもに砂糖を使っていないので、あっさりとした味になっています。また、カボチャやリンゴなどほかの食材を使ってもおいしく食べることがができますので、ご家庭でも作ってみてくださいね。



各学年で取り組んだ、地域の環境や人的資源を活用した「食育」についての体験学習の実践を、栄養教諭が「食育だより」にまとめて発信した。

熊取町立西小学校 P.9



枚方市立第一中学校 P.12

カリキュラム・マネジメントの手引き
第3章

4. 「情報共有・発信」に関する参考資料 (2) 校内・校外に向け通信を発行する

信太小学校 校内研究通信

ハウレ〜カ!

令和2年8月5日
文責・ 第2歩

表現するための武器 ～視覚的にはっきり示す～

子どもの言葉には、数学的な見方・考え方が見え隠れするものが多くあります。見え隠れするからこそ、その言葉を取り上げ、価値づけを行う必要があると考えています。また、授業内で価値づけを行うだけに留まらず、教室に掲示し、視覚的にはっきり示すことが大事です。数学的な見方・考え方が働いた表現を継続的に価値づけ、使えるようにしていくためです。

以下に挙げるものは、実際に授業やノートに子どもから出てきた言葉です。教師が一方的に提示している類型ではありません。形式的に言葉を教え込むのではなく、子どもが感覚的に筋ぎだした言葉を取り上げ、価値づけ、意識的に使えるようにしていきます。

4年2組
既習の事項と結びつける統合的な考え方が働いている表現。

4年3組
・「まず〜」は、順序良く整理しながらの表現。
・「くわしく言うと〜」は、より明確な表現。
・「〜なはずなのに」「だとすると」「もし〜」は、仮定したり、適用範囲を広げる表現。
・「つまり」は、より簡潔な表現。

6年3組
・「図で表現」は、根拠を明らかにする論理的な表現。
・「例えば」は、数字や事例を置き換え、より分かりやすくする表現。

和泉市立信太小学校 P.10

研究授業で明らかになった成果や課題、今後の方向性を話し合い、研究通信を発行し、研究通信を通して、全教員で今後の方向性を共有するとともに、研究授業で明らかになった課題に正対した取り組みの紹介をした。



<町教育委員会による支援> ～学校のつきたい力を地域へ発信・共有～

学校のつきたい力・めざす子ども像を地域へ発信・共有することで、地域を巻き込んで取り組みを進める意義を理解してもらった。教職員と役場・地域の方とのミーティングを企画し、またホームページや町広報誌で今回の取り組みの進捗や成果を随時発信するようにした。

New! 田尻町立中学校 P.7

田尻町 TAJIRI TOWN

現在の位置 ホーム > 各課の情報 > 事業部 > 都市みどり課 > 開発・都市計画 > 道路・緑りょう > 吉見ノ里駅前周辺整備事業 > 町の玄関口で可愛いポストがお出迎え!

町教育委員会による支援

町教育委員会による支援として、吉見ノ里駅前周辺整備事業のラッピングポストが設置されました。ポストのデザインは、SDGsを学んでいる田尻中学校の生徒が中心となり、中学校内で募集し、様々な人の投票により、選ばれたデザインです。

キーワードから探す

Google 検索

広報誌・ページIDから探す

吉見ノ里駅前周辺整備事業

- 吉見ノ里駅前周辺地区 都市再生整備計画事業
- 吉見ノ里駅前周辺整備事業について
- 社会資本整備総合交付金について
- 吉見ノ里駅前広場指定管理事業者のお知らせ(2022年11月4日更新)(審査結果について)

①田尻町ホームページより

SDGs TO TAJIRI

おしりせ

SDGs田尻川クリーン作戦

日時 11月19日(土)
午前9時集合 11時30分頃まで

集合場所 公民館横駐車場

内容 田尻川の清掃を行います!
中学校の生徒たちが、田尻川の環境に課題を感じ、コロナ禍で実施できていなかった田尻川の清掃を企画し、田尻町まちづくり住民生議の皆さまのご協力のもと実現することができ、皆さまのご参加をお待ちしております。※軍手、ゴミ袋は用意しています。

SDGsみんな食堂

日時 11月19日(土) 午前11時～午後3時

場所 和cafeこころ

内容 みんな食堂を開催します!
中学生の「人と人のつながりを大切にしたい」という想いに、福祉課や和cafeこころさんの方々が応えてくださり、様々な人が集えるみんな食堂を開催することができます。

令和4年度田尻町立中学校2年修学旅行! 環境体験

SDGs弁当

50食限定!

11月12日(土)
11:00-12:00(申込)
中学生連帯団体旅行!

¥500

子どもたちの「田尻町のために何かしたい」という想いに、たくさんの方が協力してくださり、様々な形で実現することができています。田尻町の子どもたちは温かい地域の方々に見守られ、支えられながら育っていると実感します。

②広報たじり11月号より

